

TOPIC

南相馬市及びTR財団と連携・協力に関する協定を締結しました



南相馬市の復興と医療分野発展に寄与

TRセンター浜通りサテライトでの研究・開発加速と地域の人材育成

令和7年3月13日(木)、本学は南相馬市および一般財団法人福島医大トランスレーショナルリサーチ機構(TR財団)と、医療関連分野での連携・協力に関する協定を締結しました。

この協定により、本学TRセンターは、南相馬市にあるTRセンター浜通りサテライトでの研究成果を踏まえた医薬品等の開発を加速させていくとともに、医療分野での

人材育成にも力を入れていきます。

具体的には、知的財産(知財)セミナーや中高生向け出前講座を企画し、地域の若い世代に研究の魅力を伝える機会を提供する予定です。そして、南相馬市で世界レベルの研究が行われていることを知ってもらい、将来のキャリア選択の参考にしていただきたいと思います。

また、南相馬市は本学及びTR財団と連携

し、研究開発の推進や地元企業との連携協力を支援していく旨表明しました。

協定締結式は南相馬市役所で行われ、南相馬市市馬和夫市長、TR財団家村俊一郎理事長、本学竹之下誠一理事長兼学長が協定書を交わしました。

式では、竹之下理事長兼学長が「南相馬市の復興と発展に寄与できるよう、効果的な事業実施に努めたい」と挨拶しました。

SPECIAL NEWS

本学附属病院の病院長に大平弘正教授が就任

令和7年4月1日(火)、本学附属病院の病院長に、大平弘正教授が就任いたしました。

大平病院長は、今後の抱負について次のように述べています。

本学附属病院は明治4年(1871年)に開設された白河仮病院を祖とする150年近い歴史を有する病院です。

その後、須賀川病院、福島県立女子医学専門学校時代を経て、昭和27年(1952年)に新制福島県立医科大学が設置され新たな歩みを始めました。昭和62年(1987年)には杉妻町から光が丘に移転し現在の病院が完成しています。

当院の基本理念は「健康を支える医療・

心温まる医療を目指して県民と共に歩む」であります。この基本理念の下、当院は県内唯一の特定機能病院として、高度な医療と専門的な治療を提供し、他の医療機関では対応が難しい疾患や重篤な患者さんの治療を担います。

一方、高度医療だけでなく、患者さんに対する親身な対応や医療の質の向上も重要です。患者さんの声を反映した医療サービスの充実やわかりやすい説明・情報提供に努めてまいります。

当院のもう一つの重要な役割は、医療人材の育成と地域医療への貢献です。県内では医師不足が課題となっているため、高い倫理観の下、人のいのち、人権とプライバシーを尊重



し、地域医療を支える人材の育成に努めていきます。特に、若手医師の育成と県内の病院への医師派遣を通じて、地域医療の充実に貢献したいと考えております。

当院の約650名の医師、約950名の看護師、約600名の技師、事務職員等、全ての職員が、心と力を合わせて患者さん一人ひとりに心の通い合う医療を提供することができるよう、今後も引き続き努力と研鑽を続けてまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。





医学部同窓会より、 卒業生3名に令和6年度「光が丘賞」を贈呈

医学部同窓会より贈られる卒業時表彰「光が丘賞」の表彰式が、令和7年3月25日(火)に開催されました。

「光が丘賞」は、学業識見に優れた者、スポーツ・芸術および課外活動で特筆すべき成果を挙げた卒業生を褒賞することを目的としており、将来本学の発展に寄与することが期待され

ると認められた学生に贈られるものです。

令和6年度は、成績優秀者として寺島凛さん、松山京佑さん、松井菜々子さんの3名が選ばれました。このうち寺島さんには卓越して優秀な成績を収めたとして「後藤新平奨励賞」も贈られました。

寺島さんは「患者さんを第一に考え、知識や



左から松井さん、寺島さん、松山さん

技術を磨き、思いやりのある医師を目指したい」、松山さんは「相手の立場に立って患者さん自身を診るような医師を目標に頑張りたい」、松井さんは「賞に恥じないよう、福島県の医療を支えていきたい」と、それぞれ今後の抱負を述べました。

NEWS01 展示館展示室 リニューアルオープン記念 特別展示開催のお知らせ

福島県立医科大学附属学術情報センター展示館展示室は、本学の研究・教育を通じて収集・蓄積された標本類、考古資料などの貴重な学術資料を広く公開しております。

この度本館は、展示物の整理および配置の変更を行い新たに本学の歴史概要、震災時の対応、教育・研究・診療に関する最新情報を加えて、令和6年7月にリニューアルオープンいたしました。

今回、ニューアルオープンを記念して3つの

特別展示を令和7年4月1日から1年間同時に開催いたします。

まず「野口英世～福島から世界照準～」展では、本学にもゆかりの深い細菌学者・野口英世に関する貴重な資料を展示します。

次に「福島県の蝶・世界の蝶」展では、福島昆虫ファウナ調査グループで活躍されている渡辺浩氏の豪華な蝶の標本群を公開いたします。

さらに「小松左京の世界」展では、小松氏と生

前親交のあった本学の村村健寿教授(病態制御薬理医学講座)が所有する、小説や映画の資料をご披露いたします。(協力:小松左京ライブラリ)

いずれもなかなか目にするのでできない本物の貴重な資料、標本群となります。常設の展示と合わせて、ゆっくりと楽しみいただけますら幸いです。

詳細はこちらから



NEWS02 「団結」心ひとつに立ち上がろう!

令和7年3月11日(火)に本学保健科学部の教員・学生が福島駅前キャンパスにて、東日本大震災で犠牲になられた方々へ哀悼の誠を捧げるため、1階エントランスホールに LEDキャンドルを用いて「団結」の文字を描きました。

中心となって事業を企画した同学部診療放射線科学科3年の遠藤永陽さんは「一人ひとりの小さな力も、集まれば大きな力になる。復興への思いをより多くの人に届けるためには、心をひとつに団結して取り組むことが大切」と述べました。



NEWS03

令和7年4月12日(土)、コラッセふくしまにて、下記のとおりふくしま子ども・女性医療支援センター開設10周年記念講演を開催いたします。

平成28年(2016年)4月、福島県は「女性

が安心して子どもを産み育て女性の生涯にわたる健康をサポートする」をスローガンに掲げ、福島県立医科大学内に「ふくしま子ども・女性医療支援センター」を開設しました。

このたび、当センターが開設10周年を迎えることを記念しこれまでの事業報告に加え、各分野で活躍する著名な講師をお招きして講演会を開催する運びとなりました。

① 名称 ふくしま子ども・女性医療支援センター開設10周年記念講演

② 会場 コラッセふくしま4階(多目的ホール) 〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20

③ 日時 令和7年4月12日(土)13時30分~15時55分

④ 主催 福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター

お申し込みはこちら

